

写真で見る萬代橋三代①

初代萬代橋

※特に断りのないものは、当館の所蔵資料です。



萬代橋を見上げる※

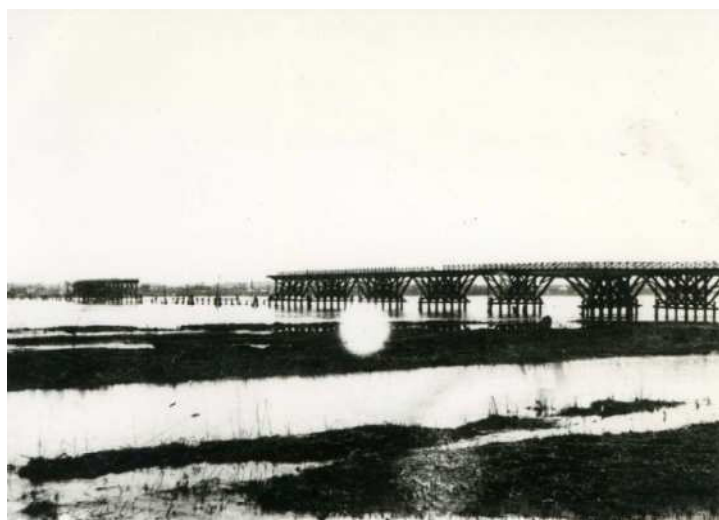
橋のつくりは、初代も二代目もよく似ています。初代は、水面から橋げた下端までの高さが、22尺（約6.7m）の設計でした。 ※西詰側から撮影



初代萬代橋と

舟に乗り込む人々

橋ができて、当時（明治後期）は、まだ舟が重要な交通手段でした。現在の上大川前通5番町付近と思われます。



焼失した萬代橋西側と

残った東側

明治41（1908）年3月に古町で発生した火事は、萬代橋にまで燃え広がりました。

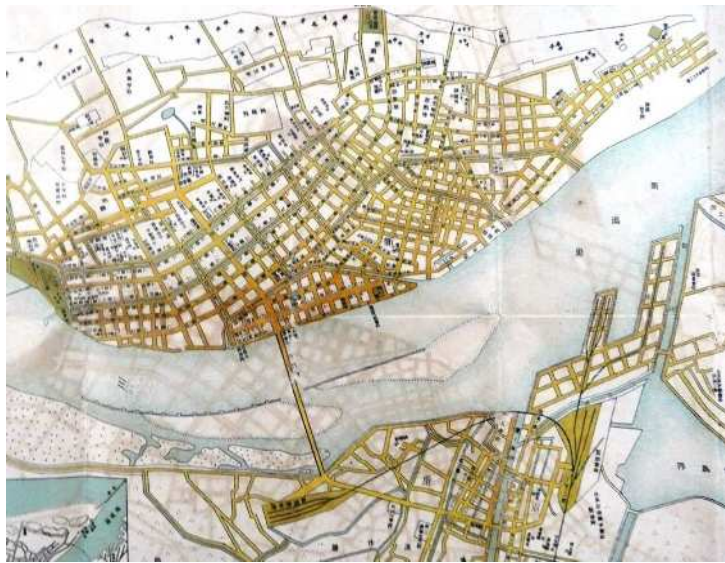
写真で見る萬代橋三代②

二代目萬代橋



新潟萬代橋 橋長430間

大正期に発行された絵葉書です。このころ、白根・新飯田方面や葛塚などと新潟を結ぶ川蒸気船が運航していました。



大正15年 新潟市地図

萬代橋の右側には万代島があります。橋の東詰は、現在の流作場五差路付近です。二代目の橋の長さが想像できます。



昭和4年 新・旧萬代橋

二代目と三代目の萬代橋が並んでいる絵葉書です。三代目の竣工後も、しばらくは二代目も使用されていました。

(新潟市歴史博物館所蔵)

写真で見る萬代橋三代③

三代目萬代橋



工事中の三代目萬代橋

三代目萬代橋の工事では、初めて日本人技術者だけの手で、空気潜函工法が実施されました。右端には、二代目萬代橋が見えます。



昭和初期の三代目萬代橋

橋中央には、市街電車用の軌道敷（幅約5.5m）が設けられています。結局、電車計画※は、実現しませんでした。

※新潟駅と現市役所本館付近を結ぶ計画



萬代橋を渡る出征兵士

三代目萬代橋が完成してまもなく、大陸での戦争が始まりました。^{のぼり}幟に名前のある出征者を大勢で見送っています。